



彩の国福祉教育・ボランティア学習推進員ネットワーク あつたかウェルねっとニュース 第30号

2018年7月23日発行

ホームページアドレス <http://www.geocities.jp/attaka17/>

2011年3月11日の東日本大震災より7年が経ちました。失われた多くの尊い命のご冥福を祈り続けるとともに、一日も早い被災地の復興・復旧を願い、被災された皆様の安心安全を心よりお祈り申し上げます。

あつたかウェルねっとの「ウェル(WELL)」は、Welfare(福祉)、Well-Being(幸福)のWell(大切にという意味)で、「温かな心で一人ひとりを大切に思うつながり」でありたい、との願いが込められています。

学び合い、深め合って 福祉教育実践を県内に広げましょう！

平成30年度総会&研修会を終えて、今年度も活動に動き始めています。昨年度のスキルアップ研修Part1, Part2で学んだ実践力を活かそうと、有志がプログラムづくりからイベント開催までの企画会議を重ねています。(3ページに関連記事)

また、若者への福祉教育研究会のプログラムづくりに参加し、それぞれの実践の見える化に挑戦しながら、学びを深め実践力を磨いています。昨年に続くスキルアップ研修Part3の開催や、まなびばしやべりばスペシャルも予定しています。

今年度も、県内各地の推進員同士で情報交換しながら、福祉教育実践の輪を広げていきましょう。

スキルアップ
研修Part3

お知らせ

福祉教育実践力アップ研修 ～福祉教育実践を県内に広げよう！～

地域共生社会の実現に向けて、自ら「誰に」「何を」「何のために」伝えるのかを明確にし、サービスラーニングの視点も共有しながら、県域での福

祉教育・ボランティア学習推進への実践力向上と実践者の広がりを目指します。

開催日：平成30年8月20日(月曜)
受付：9時30分～
時間：10時から15時30分(昼食・休憩時間を含む)
会場：坂戸市文化施設オルモ(2階) 情報研修室

(東武東上線「北坂戸」東口ロータリすぐ前)
対象：障害当事者、市町村社協職員、ボランティア、
福祉施設職員、福祉教育に関心のある方(学生を含む)

募集人数：50名

参加費：2,000円(学生は無料)

申込み締め切り：8月13日(月曜)

講師：松本すみ子氏

事前の申込み
をお願いします

(東京国際大学副学長・人間社会学部学部長)

「ういす・共に」(鶴ヶ島市福祉教育実践団体)

ゲストスピーカー：友田尚武氏(埼玉県福祉政策課)
内容

(1) 講義「福祉教育概論その3」

～メンタルヘルスと福祉教育～

講師：松本すみ子氏

(2) 演習「Tアップゲーム(鶴ヶ島市地域力向上ゲーム)から学ぼう」

講師：ういす・共に(鶴ヶ島市福祉教育実践団体)

(3) 対談「埼玉県発！地域福祉のカタチ」

～誰もが誰かのためになるさいたまを目指して～
友田尚武氏・松本すみ子氏

お誘い合わせのうえ奮ってご参加ください。

申込先：ねっと事務局 須田 049-283-1865(FAX)

メールアドレス masako@niconico39.net

報 告 主催事業

総会
研修会

平成30年度 ねっと総会が行なわれました

平成30年5月13日(日曜) 9時30分から、彩の国すこやかプラザ セミナーホールにて総会をおこない、すべての議事が了承されました。

冒頭に日本福祉大学学長補佐の原田正樹教授より来賓あいさつをいただき、続いて十文字学園女子大学副学長の佐藤 陽教授のメッセージが読み上げられました。「『ふだんのくらしのしあわせ』を実感できる人と社会づくりに向けて、学びを実践に紡ぐプラットフォームとして、『あつたかウェルねっと』がこれからも先駆的に取り組まれることを応援していきたい」と温かいエールをいただきました。

平成30年度 ねっと研修会は盛況 ～これからの福祉と教育～

総会終了後、同じ会場で10時45分から研修会を行ないました。

はじめに、ご来賓の埼玉県社会福祉協議会 地域福祉部長であり同ボランティア・市民活動センター長の鈴木隆夫様より、ご参加のみなさまや当ねっとへ向けて、「日本で開催される2020年のオリンピックでのボランティアのことや埼玉県では2025年に全国一と予想される超少子高齢問題に柔軟に対応できる市民力・地域力には、これまで以上に福祉教育・ボランティア学習が重要になる。県社協もみなさんと連携していきたい。」との力強いご挨拶をいただきました。続いて、講師の先生方にご挨拶をいただきながら、学び合い・交流・情報交換へと充実した内容で研修会が進みました。

研修内容をご紹介します。

(1) 「福祉教育実践プログラムの創出と普及」

コーディネーター:河村美穂氏(埼玉大学・教授)
ねっと会員が、若者への福祉教育研究会にて、「見える化」プログラムの実践報告書づくりに取り組んできました。完成はこれからですが、あつたかウェルねっとからの事例報告です。

① 発達障害への理解

(東松山市/櫻井栄里・中島満)

～櫻井さんオリジナル凸凹カードを使いながら～
*本人も力を発揮することができる。

(周囲の理解があればできる。)

*誰にでも凸凹はある。

(認められない時に障害になる。)

② 認知症理解

(川越市/木村房枝・杉浦和夫・和田弘)

～認知症理解について、寸劇を交えながら～

*認知症を知ろう。小学生版を使って市内学校で。

☆河村美穂先生のコメントより☆

- ・相手をわからうとする気持ちが重要！
- ・お互い様の精神が大事だということを伝えてほしい。(分からぬ部分は工夫してほしい。)
- ・どちらの事例も「内容と方法」を精選している。
- ・実践している人は、方法・教材をしっかりと！
- ・ビジュアルな教材が理解しやすいので、リアリティーを追求する。(ここがポイント！)
- ・福祉教育の広がりが必要！

等々を、学び合いました。



昼食タイム～交流・情報交換～

ポスターセッション～プログラム創出の今！～と題し、様々なプロジェクトからの報告書など展示了内容について、順番にアナウンスあり。参加者一同、聞き入りました。

(2) 講演「これからの福祉と教育」

～相互実現的自立をめざす福祉教育～

原田正樹氏(日本福祉大学・教授)より

☆暮らしにくさ、社会の中にある「障害」に気づく☆寝たきりになっても、その人の強み、その人の役割がある(誰もが誰かの役に立つ)ことに気づく

☆理念をふまえて「共生社会」を創造・構築する☆一人一人に届く福祉教育の各論が大事

等々、ボランティアとコミュニティサービスやサービスラーニングの視点からも市民性を育む大切さについて講義いただきました。

(3) 「私と地域の関わり＆私たちの役割」について

8グループで熱く語り合い、発表しあいました。

- ・団体の活動を広める→どう関わっていくか！
- ・何かがあつた時に誰かが助けにきてくれるまち！
- ・放課後子ども教室→勉強でなく障害当事者との交流→リハセントリカルアセスメント
- ・小中高の体験をもとに戦争体験や昔の暮らしを伝える。88歳の妻を通訳にしてラジオ体操へ
- ・目が不自由でも民生委員はできる
- ・更生保護女性会で社会復帰の手伝い、等々。

(4) 対談「今、埼玉でめざす福祉教育」と、次の「これからに向けて」を含めて学びあいました。

登壇者：原田正樹氏・



河村美穂氏・横田八枝子代表・

牧野郁子若者への福祉教育研究会事務局長

『あつたかウェルねっとは、信頼関係をベースに、いつも一緒に考えながら、今後も学び合っていく』

『51%の人の意識が変われば、社会が変わる』

『実践を検証して、福祉教育をアピールする時期』

『エビデンス(根拠)を作る。実践の良さ、実践者の想いを大切にできるものを作っていく』

『実践しているチームのパッションを持ち続けられるように、共有する機会を作っていくことが大事』

『地域の実践なので、地域福祉の学びが大事』

『教示教育・チーム力・講師養成・プログラム可視化』

等々、福祉教育を大事に思う人たちと、地域の中で福祉教育を進めていくポイントを再確認しました。

報告と予告 まなびばしゃべりば

スキルアップ研修Part2のプログラムで実践に繋がる企画が出来ました



4月23日（月曜）に春カフェ「みんなで企画書づくり！第2ステージ」を、5月23日（水曜）には「みんなで企画書づくり！ファイナルステージ」を坂戸市文化施設オルモにて行ないました。

その後、打ち合わせを重ねて、いよいよスペシャル版のまなびばしゃべりばカフェの実施へと歩を進めています。

まなびばしゃべりばカフェ スペシャル 結婚観を探ろう！知ろう！

予告

- ♡ 子どもから大人まで
- ♡ 地域のつながり
- ♡ 相手を大切に想う
- ♡ 誰でも参加できます。

カフェのスペシャル版です！人生ゲームで楽しい出会いを。地域のあたたかくつながり相手を大切に思うつながりをつくりましょう！！

日時：平成30年11月10日（土曜）

14時～16時30分

場所：坂戸市文化施設オルモ ギャラリー1・2・3

定員：先着50名

参加費：500円

対象：関心のある人（年齢制限なし）

若福研究会コーナー

若者への福祉教育研究会 2年間の成果を報告します！

開催日：平成30年8月14日（火曜）

時間：13時から15時

会場：ウエスタ川越 会議室1

関心のある皆さん、どうぞご参加を！

平成28年8月10日に設立の会を行った「若者への福祉教育研究会」も今年8月で、当初予定の2年間の活動がいったん区切りを迎えます。

この2年間の成果として、26のプログラムと共に、複数のプロジェクトが立ち上がり、福祉教育プログラムの見える化に取り組みました。地域づくりにつながるサービスラーニングの視点を入れながら、それぞれの持つプログラムのプラッシュアップを重ねてきました。

この成果は、埼玉県あつたかウェルねっとが18年間にわたり取り組んできた成果でもあり、河村美穂先生をはじめ、多くのアドバイザーの先生方の力によるものと心から感謝しております。

報告書については、8月14日以降に必要な方にはお渡しできますので、ご連絡ください。

申込み先：若者への福祉教育研究会事務局兼
あつたかウェルねっと事務局（須田正子）
FAX 049-283-1865 メール masako@niconico39.net

県社協からの情報

今年度、県社協では地域共生社会の推進に向けて主に下記の事業を実施し、広く県民の皆様に地域活動の取組への理解を図っていきます。

- 生活支援センター養成事業（地域に関心を向けていただく応援者を養成します）
- 共生・共助つながりづくりシンポジウム
- 福祉教育推進者研修
- 小中学生作文コンクール
- ボランティア体験プログラム事業
- ヤングボランティア交流事業 等

小中学生作文コンクール

今年度も、子供たちが普段の暮らしの中で家族、友人、地域の方などとの関わりから『つながり』や『支え合い』を実感し、「ふれ合うことの楽しさ」「共に生きる幸せ・喜び」について考える機会を創出することで、福祉意識の醸成を図ります。

区分	小学生の部	中学生の部
対象	4・5・6年生	全学年
文字数	800字	1,200字

応募締切：平成30年9月7日（金）

ヤングボランティア交流会

高校生のボランティア活動を応援していくために、「ヤングボランティア交流会」を実施します。8校29名の高校生からなる企画委員会を設置し、交流会の内容を検討しています。6月に第1回企画委員会を開催したところ、“交流”と“情報交換”に重きをおいたプログラムとすることとなりました。

期日：平成30年11月11日（日）11:00～16:00
会場：彩の国すこやかプラザ セミナーホール

研修課よりお知らせ

「地域福祉活動推進者研修」を開催します。
会場：彩の国すこやかプラザ 2階 研修室
参加費：1テーマにつき2,000円

日程	内 容
8/27(月) 14:00～16:00	テーマ1 「身近なインターネット犯罪」
8/30(木) 10:00～12:00	テーマ2 「地域の外国人の現状」～私たちの支えあい、共に暮らすヒント～
8/30(木) 13:30～16:00	テーマ3 「パラスポーツ」
8/31(金) 13:00～16:00	テーマ4 「精神疾患の親がいる子どもを支えるために」
9/13(木) 13:00～15:00	テーマ5 「認知症ケアとユマニチュードに関する研修」
9/21(金) 13:00～16:00	テーマ6 「保護司活動と地域の絆」～罪を犯した人の社会復帰の手助けをする～

詳しくは 本会HP埼玉県社会福祉協議会 福祉の研修
<http://www.fukushi-saitama.or.jp/site/welfare/study/>

事務局情報

マーリングリストで情報を

会員・賛助会員の方でメールアドレス（携帯也可）をお持ちの場合、マーリングリストの登録ができます。希望する方は事務局までお知らせください。ねっと事務局 須田 049-283-1865 (FAX)

メールアドレス：masako@niconico39.net

会費振込先のお知らせ

活動は、ねっと会費（年1000円）で運営しています。みなさまのご協力をよろしくお願いします。

振込先：埼玉りそな銀行武藏浦和支店・

普通預金口座番号：5015782

名義：彩の国福祉教育ボランティア学習推進員ネットワーク

編集後記

このたびの平成30年7月豪雨により被災された皆様に、謹んでお見舞いを申しあげます。

息の長い支援、忘れないことを誓って！！

発行：彩の国福祉教育・ボランティア学習推進員ネットワーク（通称：あつたかウェルねっと）

編集：あつたかウェルねっと（情報担当）

連絡先：埼玉県社会福祉協議会地域活動支援課

TEL：048-822-1435